

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第55号

古牧だより通算149号

## 「社会を明るくする運動」 集会が開催される

7月27日、古牧地区社会を明るくする運動推進委員会の主催により、古牧公民館において厳しい暑さが続く中、100名余の住民の方々や関係者の参加によって盛大に啓発運動集会が開催されました。

例年全国的に行われる「社会を明るくする運動」の強調月間に当たり、社会犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力、等の啓発運動の一環として、小中学生による作文の発表、映画鑑賞、講演等が行われました。

作文発表は、古牧小学校6年生山田なつめさん、三陽中学校1年生の西沢里奈さんと常田勘太さんの作文が発表され、いずれも、「明るい社会を築くには何をしたらよいか」を訴える内容でした。

映画鑑賞は、「君は一人じゃない」というビデオを上映し、「家庭や学校からの疎外感から非行に走った少女が、保護司や雇い主の

### 13回 社会を明るくする運動



理解と働きかけにより徐々に心を開き、立ち直りの道を歩み出す」という内容でした。

講演は、長野保護観察所・企画調整課長・水澤弘行さんを講師に迎え演題は「立ち直りを支えるしくみ」について、更生保護のしくみ等について映像を利用しながら大変解りやすく説明され、良い勉強になった集会でした。

(社会を明るくする運動推進委員会)

## 絵本への誘い 子育て支援部 丸田周子先生を囲み研修会

7月25日古牧公民館第2会議室において、表記の研修会を開催いたしました。

まず、皇后さまの語られた一幼いころの心の震え率直に—今年7月30日生誕百年を迎える新美南吉の「でんでんむしのかなしみ」の話は、その後何度となく、思いがけない時に私の記憶によみがえってきました。

そのお話の後、“わたしが出会った絵本、童話、物語”について、「幼児期 6歳頃ま

で」「児童期 小学校低学年頃」「中高学年頃」「成人後」「今」

5つの質問に福祉部会長、部長他13名が、真剣に今までの人生を振り返り、原点に戻って記入しました。

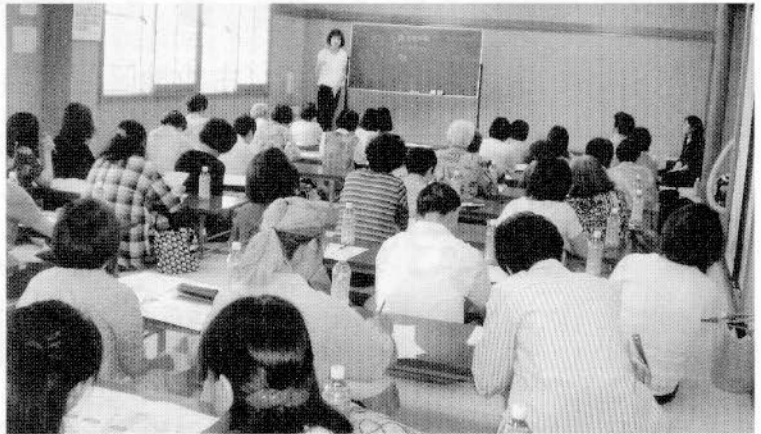
そして全員（講師の丸田さんも）発表し合いました。子育て支援部員の皆さんのこれからの活躍にどうぞご期待下さいませ!!

# 健康食講習会開催 目指せ！血液さらさら美人

健康食講習会2回シリーズの1回目を7月1日(月)古牧公民館にて、三陽保健センターより保健師さん、管理栄養士さんを迎えて開催いたしました。

古牧地区は糖尿病予備群が多い地区と言われています。食事に気を付けているのにコレステロール値が高いのはなぜか？私たちは意外に糖をたくさん摂っているのです。

主食・汁・主菜・副菜の4つのグループを食事ですっかり、バランスよく食べることの大切さを改めて教えて頂きました。完璧にはできませんが、学んだことを頭の中に留め、日々の食事に少しでも生かしたいと思えます。



2回目は8月29日(木)「コレステロールを下げる食べ方」を教えてください。

これで私も「血液さらさら美人」の仲間入り？今からとても楽しみです。

(保健指導員)

## 夏の交通安全「やまびこ」運動

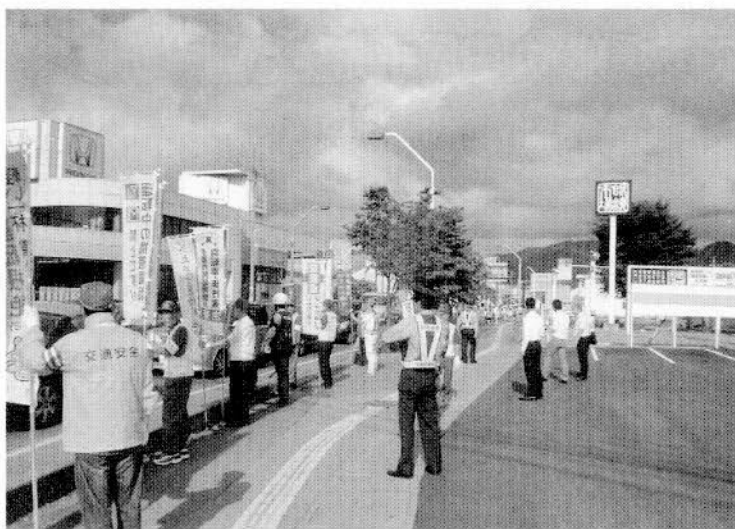
7月19日より、夏の交通安全「やまびこ」運動が25日までの1週間行われました。この交通安全運動は、長野県独自の運動であり、暑いこの時期涼を求め来県される観光客の皆様や、学校が夏休みに入ることも達が、交通事故に遭わない様に、啓発活動を行うものです。期間中各地区においても、安全協会や安全部が啓発活動を行いました。また、19日早

朝には、国道18号「上高田北」交差点に於いて、街頭啓発活動が行われました。ニトリ駐車場で、この運動の出発式を行い、その後交差点に移動して、交通事故防止を呼び掛ける啓発活動として、チラシ・安全物品等を、信号待ち車両の運転者さんに配布しました。

この運動には、各地域住民自治協議会・長野中央警察署・長野交通安全協会・自動車販売協会・長野市など約150名が参加し、古牧地区からも住民自治協議会会長を始め、副会長・各地区安全部員等が参加し、交通事故防止の啓発活動を行いました。

また、27日早朝には、西尾張部交差点の交通安全観音像周辺の草刈り、清掃作業を行い交通安全を祈願しました。この草刈等は、交通安全協会と安全部が毎月当番制で行っています。お近くをお通りの際は、交通事故防止を願って手を合わせていただければ幸いです。

(安全部)



## 第37回 中学生ボウリング大会 開催



7月20日(土) ヤングファラオで開催されました。古牧地区の中学生80名が参加しました。

始球式は住民自治協議会副会長の小林逸郎様に務めていただきました。

1人2ゲームの短時間ではありましたが、ピンが倒れるたびに歓声が上がリ、みんなに

ぎやかに楽しんでいました。

表彰式での優勝者の言葉では、「来年はもっと高いスコアを取りたい」「1位になれると思っていなかったのが1位になれてうれしい」と笑顔で答えてくれました。

### 成績発表

男子	優勝	西尾張部	原山 佑太(2年)
	2位	川 端	赤尾 知宏(1年)
	3位	南 高 田	熊井 智(3年)
女子	優勝	五 分 一	丸田 実果(2年)
	2位	東 和 田	常盤 由夏(2年)
	3位	南 長 池	関口 未紗(2年)

## ゴルフ大会で親睦が深まった

7月24日、住自協主催の「第9回古牧地区親睦ゴルフ大会」が長野カントリーにおいて開催されました。



生憎雨降りの天候にもかかわらず欠席者もなく90名が参加されたことは、一人ひとりがこの大会に関わることの認識と地域住民の団結の強

さが見られました。

スタートすると同時に雨足がだいに強くなりプレーを続けることが不可能となり、9ホールで打ち切り表彰式を行うことになりました。



表彰式は、小林副会長から今日一日の感想等含めた挨拶に引き続き沢山の賞が贈られるとともに、コミが十分に図られた有意義な大会でありました。

成績は次のとおりでした。

#### 個人の部

優勝	森山行敏(南長池)
2位	長田元行(南長池)
3位	斉藤博美(荒 屋)

#### 団体の部

優勝	五分一区
2位	北 条 区
3位	東和田区

#### コース別ベスグロの部

飯綱 1位(40)	鈴木次雄(五分一)
戸隠 1位(41)	馬場正美(北 条)
高妻 1位(38)	山口悦正(五分一)

## 三世代の交流を目指して ～マレットゴルフ大会～

今回で3回目となるマレットゴルフ大会が7月27日(土)に長野運動公園内のマレットゴルフコースで開催されました。

日ごろ交流の少ない三世代のふれ合いを目指して古牧地区の住民自治協議会、マレットゴルフ同好会及び老人クラブ連合会の三者が共同企画したもので、小学生から高齢者まで

87人が参加しました。

当日は夏まっ盛りの中、木陰から木陰へと暑さ対策に



気を配りながら、お互いに「ナイスショット」「惜しい」と声を掛け合いながらプレーを楽しんでいました。

成績結果は以下の通りです。

#### 小中学生の部

1位	中村拓真(北 条)
2位	片塩天晴(平 林)
3位	竹前結生(川 端)

#### 保護者の部

1位	斎藤英子(川 端)
2位	小林建三(東和田)
3位	片塩恵子(平 林)

#### 一般の部

1位	齊川正雄(東和田)
2位	傳田利則(北 条)
3位	中村納子(川 端)

# 8月・9月の主な事業実施日のお知らせ 住民の皆様ご参加ください

事業名	実施日	場所	事業内容
アメシロ防除活動	6月～8月末日	13地区	近隣・区の協力体制で防除
夏季防犯夜間パトロール	8月中旬	13地区	各区において自主的に実施
公民館対抗球技大会	8月18日	3会場	バレーボール・卓球・野球
健康食講習会	8月29日	古牧公民館	栄養バランスのある食づくり
防火・防犯ポスター事業	8月・9月	古牧公民館	審査(8/25) 表彰式(9/1)
古牧地区自主防災訓練	8月31日	古牧公民館	災害対策本部設置・情報伝達訓練
一人暮らし・高齢者の集い	9月3日	古牧公民館	福祉担当者と交流懇談会
少年少女球技大会	9月15日	古牧小学校	ドッチボール・野球
不法投棄防止看板設置事業	9月1日～30日	13地区	各区において実施する

## 広報部員の募集

広報紙「ふらネットこまき」発行業務のため、編集を担当する部員を若干名募集します。



※募集期間は8月19日(月)から9月20日(金)まで  
 ※詳細については広報部または事務局にお問い合わせ下さい。  
 (TEL 259-8359)

### 古牧地区の世帯数と人口

25年7月1日現在

**10,676 世帯**      **26,170 人**  
 (男 12,873人    女 13,297人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯沢 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷

### しゃべえんびつ



### 言葉の大切さ

「たった一言が」この言葉は、私は大好きである。  
 人間のちょっとした一言で人を感動させたり、また逆に一言が人を傷つけてしまうことがある。  
 特に弱者に対しての言葉使いは慎重に言わないと、元気づけたつもりがその一言で気分を悪くさせてしまうばかりか、信頼感をも損ねてしまう。

又、夫婦間でも同様のことが言えるのではないだろうか、若い頃はこんなではなかったのに年を重ねていくうちに「どうして」と自問することもあるのでは。言葉は受け取るその人の気分によっても変わってしまいますが、親しき中にも礼儀ありの諺があるように、言葉使いひとつで人間関係が良くもなり悪くもなります。

日常生活の上でも心がけたい言葉の大切さである。

(長田 公子)